

平成17年度国民保護実動訓練 避難訓練参加住民アンケートの結果

2006年3月 内閣官房

目次

1	アンケートの概要	1
2	訓練に参加するにあたっての予備的知識等	2
3	訓練参加を通じて感じたご意見等	4
3 - 1	実際に避難等を行わなければならない場合を想定したご意見	4
3 - 2	訓練に関するご意見等	11
3 - 2 - 1	訓練の企画、進行に関するご意見	11
3 - 2 - 2	訓練内容の理解、印象に関するご意見	13
3 - 2 - 3	その他訓練に関するご感想	15
3 - 3	その他のご意見	17
	データ集	別冊

1 アンケートの概要 アンケート票はデータ集の巻末に掲載

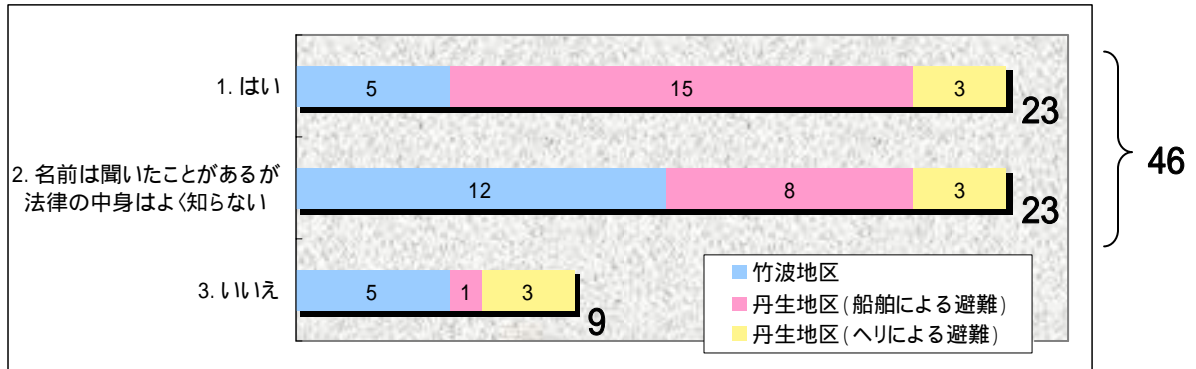
- 1 対象者： 福井県美浜町丹生地区、竹波地区からの避難訓練に参加した住民の方々(計約70名)
- 2 調査方法： 避難所(美浜町保健福祉センター)にて調査票を配布。現地で記入を依頼し、回収。
- 3 回答者数とその内訳：

項目		地区名		丹生地区		計
		竹波地区		船舶による避難	へりによる避難	
合計		23	33	24	9	56
性別	1. 男	14	22	18	4	36
	2. 女	9	11	6	5	20
年齢別	1. 20歳未満	0	0	0	0	0
	2. 20代	0	2	1	1	2
	3. 30代	7	2	2	0	9
	4. 40代	5	15	12	3	20
	5. 50代	5	13	9	4	18
	6. 60代	6	1	0	1	7
	7. 70歳以上	0	0	0	0	0
職業別	1. 公務員	0	1	0	1	1
	2. 経営者・役員	1	1	0	1	2
	3. 会社員(事務系)	3	6	5	1	9
	4. 会社員(その他)	7	15	15	0	22
	5. 自営業	7	5	2	3	12
	6. 自由業	0	1	1	0	1
	7. 専業主婦	1	2	0	2	3
	8. パート・アルバイト	4	1	1	0	5
	9. 学生	0	0	0	0	0
	10. その他	0	0	0	0	0
	11. なし	0	1	0	1	1

2 訓練に参加するにあたっての予備的知識等

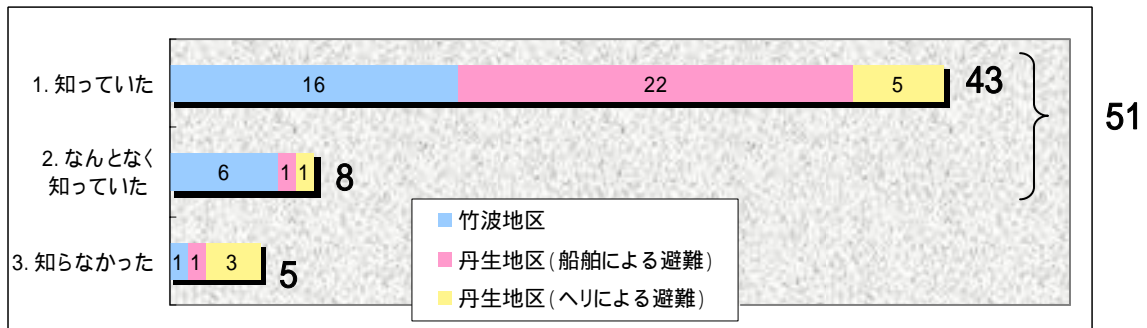
【国民保護法を8割以上の方が「聞いたことがある」】

質問：国民保護法や国民保護計画をご存知でしたか？



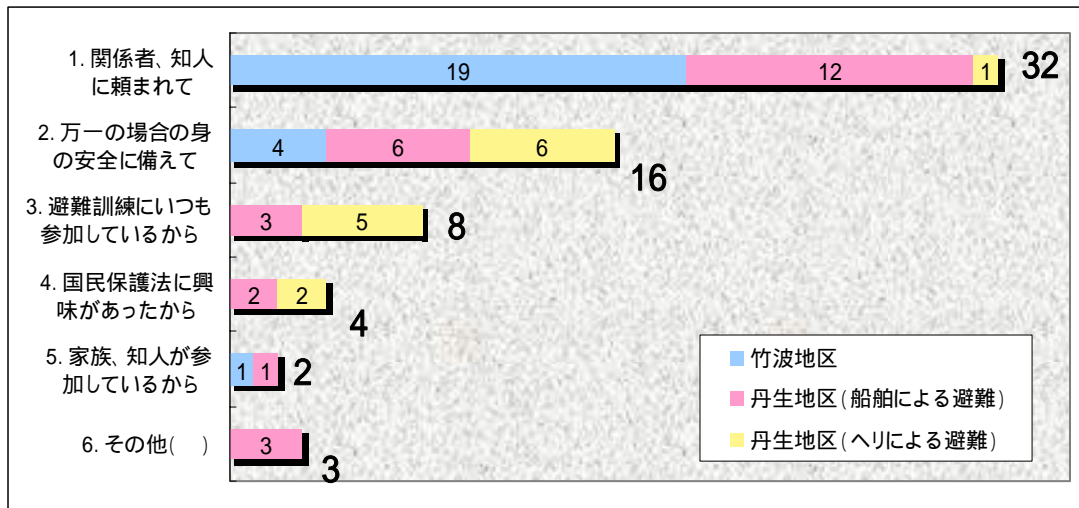
【従前の訓練と異なりテロを想定した訓練であることを9割以上の方が知っていた】

質問：今回の訓練は以前から実施されている自然災害や事故による災害訓練と違いテロを想定した訓練でした。このことをご存知でしたか？



【参加の動機は、「関係者、知人に頼まれて」「万一の場合の身の安全に備えて」が多数】

質問：今回の避難訓練に参加しようと思った動機は何ですか？（複数回答可）



その他（自由回答）

訓練の関係者のため
美浜発電所からの避難者

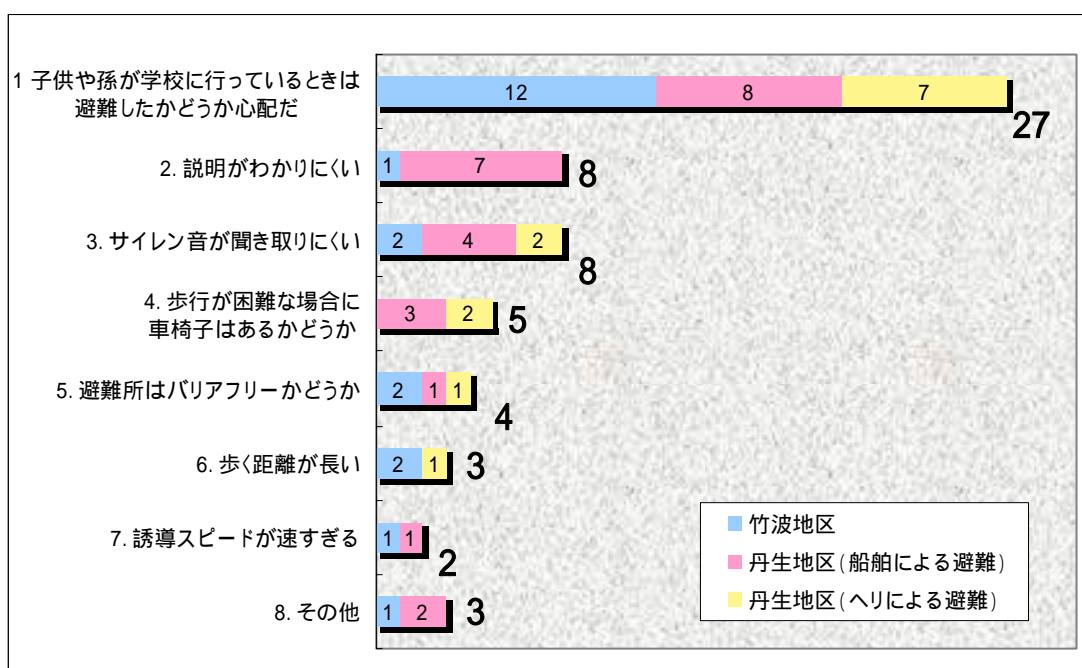
3 訓練参加を通じて感じたご意見等

3 - 1 実際に避難等を行わなければならない場合を想定したご意見

< 選択式回答より >

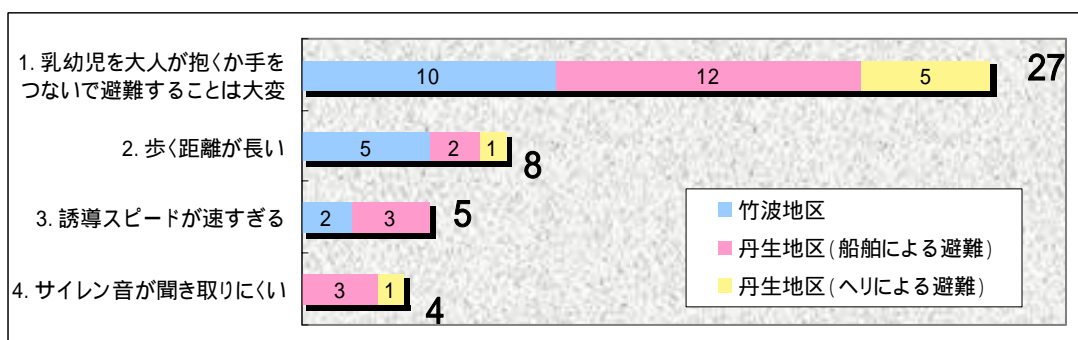
【現実に避難しなければならない際に不安なことは、「子供や孫が学校に行っている時に避難したかどうか」が多数】

質問：訓練に参加してみて、もし、現実にあなたが避難しなければならない場合、何か不安なことはありますか？（複数回答可）



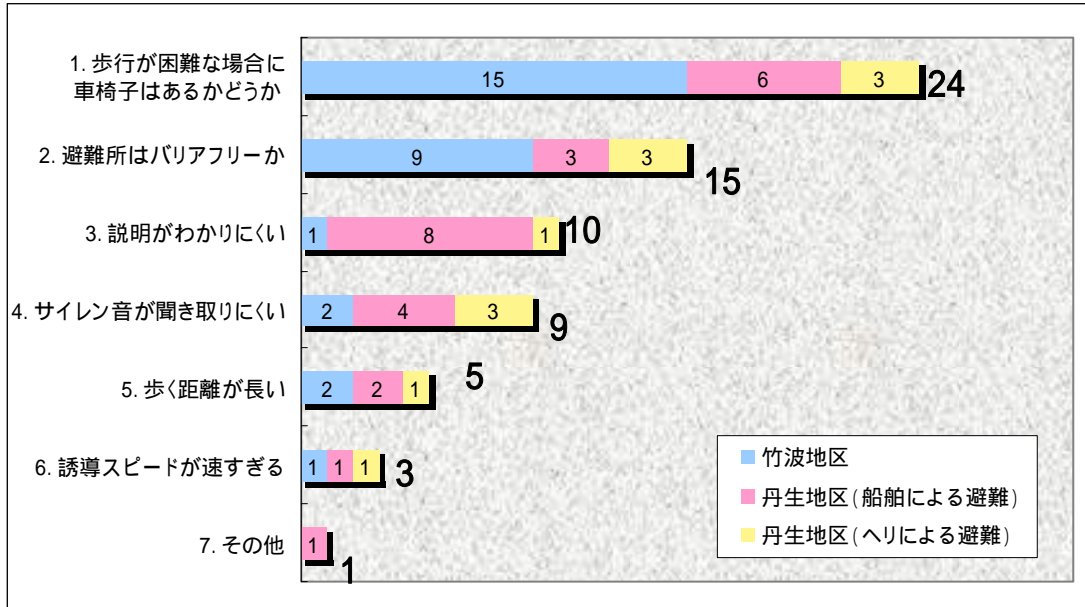
【乳幼児を連れた避難に際して気がかりなのは「抱くか手をつなぎながらの避難が大変」が多数】

質問：今回参加してみて、もし乳幼児をつれて避難しなければならない場合、何か困ることはありますか？（複数回答可）



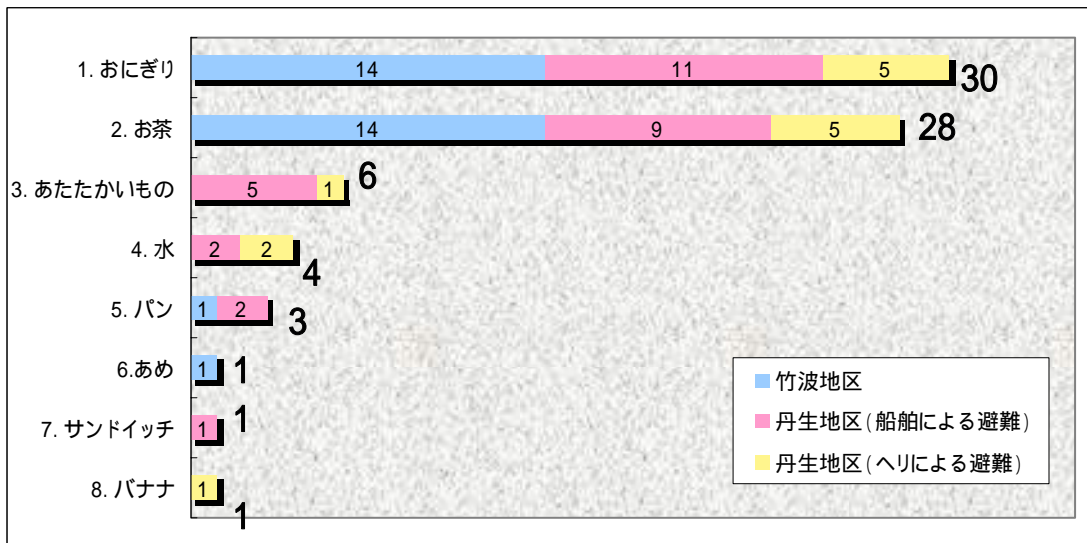
【高齢者・身体障害者の避難に際して気がかりなのは「車椅子があるか」「避難所がバリアフリーか」が多数】

質問：訓練に参加してみて、もし実際に高齢者や身体障害者が避難しなければならぬ場合、何か困ることはありますか？（複数回答可）



【避難所で配給される食料としては、おにぎり、お茶が人気】

質問：避難所で配給される食べ物や飲み物は何がよいですか？（記入式：訓練の当日はおにぎりとお茶を配給）



<自由回答より>

【子供や高齢者、身体障害者等の避難が心配、配慮すべき】

(アンケートに寄せられた声)

「特に高齢者の誘導を万全に」(竹波地区 60代男性 自営業)

「(高齢者や障害者を)安全に救出できるかどうか?その方法と対処についてよく理解してないため不安である。/安全な誘導」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「(家族の中に)身障者がいるので心配」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「義父が目が悪いので乗り降りが心配」(丹生地区 30代女性 自営業)

「子供達が乗り物酔いするので大変だと思う。」(丹生地区 30代女性 自営業)

「今日のように、雨が降っていると、年寄りの人とか大変だと思う。」(丹生地区 40代女性 会社員(事務系))

「子供や体の弱い人をとにかく最優先に考えて欲しい。」(丹生地区 40代女性 パート・アルバイト)

「体力が違う者同士の団体行動(が気がかり)」(丹生地区 20代男性 公務員)

「我が身よりも子供の安全を優先させたい。不便はない。」(丹生地区 50代男性 自営業)

「母が腰痛なので歩くことが長いと心配です。」(丹生地区 40代女性 自営業)

「高齢で足の悪い義母がいるので、うまく誘導避難することができるか。」(丹生地区 50代女性 専業主婦)

「(避難所の環境については)被災しているわけではないので、なんとも言えない。ただ、精神的に不安を持たれる方への気配りや対応はできているのでしょうか。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

【現実には訓練どおりスムーズに避難できるか不安(漠然とした不安など)】

(アンケートに寄せられた声)

「スムーズな避難が本当に出来るのか心配」(竹波地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「実際の時の誘導は、これだけの誘導してもらえるのか。」(竹波地区 50代女性 自営業)

「現実はいくか心配ですね。」(竹波地区 60代女性 自営業)

「誘導が素早くできるのか心配」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「実際にテロがあった場合に訓練ほどに余裕がないと思う。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「避難民が少ないので混雑がなかったこと(は良かった)、(しかし)実際の時を考えると心配」(竹波地区 50代女性 自営業)

「やはり避難所までの移動手段がスムーズに行くかどうか(船、バスの手配等)(が気になる)。(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「全員(区民など)が避難できるのかが心配」(竹波地区 50代男性 会社員(事務系以外))

【船舶による避難は困難/大変】

(アンケートに寄せられた声)

「実際に船での避難ができるかどうか。小さい子供や老人には無理ではないかと思えます。」(丹生地区 40代女性 パート・アルバイト)

「船での避難ではしにくいのではないかと?陸上での避難の方が危険も少なく、時間的にも速い気がする。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「船の場合、ゆれが大きく、気分が悪くなることもあるのではないかと。精神的に不安な状況では特に問題となるのでは。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「船を使う必要があるとき心配」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「やはり海上からの避難では大変である。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「船での移動は大変だと思う。」(丹生地区 40代女性 会社員(事務系))

「避難する方法をもう少し考えて欲しい。」(丹生地区 30代女性 自営業)

【避難ルートが充分か心配/もっと多く整備すべき】

(アンケートに寄せられた声)

「テロが発生した時点で住民や原発関係者が車両で避難すると思われ、現在の県道では避難時の混雑が予想される。是非新しい避難道路を設置して欲しい」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「避難ルート・方法が1つしかないことから、交通が寸断されたらテログループが道路を支配していたら、その場合どうして避難するのだろうかといつも考えています。敦賀半島には、美浜側・敦賀側県道が1本ずつしかありません。そのことから避難ルート・方法等いくつも計画しておく必要があるのではないかと。テロだけではなく、自然災害・原子力災害ともに同じことが言えると思えます。」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系以外))

「意味のないものだったと感じたから(良くなかった)。このような訓練を実施するのであれば、県道整備とか避難ルート設備の整備に費やして頂きたいと思う。」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系以外))

「避難道路(が気がかり)」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「避難道路を早急に造ってほしい。」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「避難ルート・方法の整備を要望します。美浜側・敦賀側1本ずつの県道では、佐田・敦賀花城交差点で渋滞することは目に見えている。もう1本の避難ルート建設を要望する。敦賀半島のどこの発電所で事故があっても、我々は避難する必要がある、美浜・敦賀どちら側を逃げてても本当に逃げられるのか不安です。」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系以外))

【適切に避難できるよう平素から多様なマニュアル等を整備、周知しておくべき】

(アンケートに寄せられた声)

「幸い家族に身障者・高齢者はいないため、大きな心配はないが、区民全員の避難の確認となると、バスの出発までは相当時間を要すると思う。有事の際のマニュアルを地元区としても準備する必要があると感じた。(竹波地区 30代男性 会社員(事務系以外))

「全員が一体になった避難も大事だが、1人1人がどういう状況でどこへ避難するかのマニュアルが必要と思われる。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「一番安全なところへの避難や安全な方法で実施できるよう、最良の方法で避難したいと思いました。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「地区ごととか、少ない人数でもいいので、避難方法などを十分に知らせて欲しい。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「原発を抱える地元住民としては、訓練のときにだけそれを意識するのではなく、常にいろいろなことをマニュアル化していただきたい。また、観光地として、旅館のお客様、観光客をどのようにするか等、他地域からたまたま訪れている人のことまで考えて、マニュアルを作成しないと意味がないと思われる。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

【家族がバラバラでいるときの避難が気がかり / 家族間の連絡が不安 / 安否が確認できるようにしてほしい】

(アンケートに寄せられた声)

「日曜日なので家にいるが、平日仕事で外に出ている場合にはどうするか？家族間の連絡等の不安がある。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「子供が町外の学校、職場に行っているので、そっちのほうの避難はどうなっているか心配です。」(竹波地区 40代女性 パート・アルバイト)

「子供の場合、学校とかバラバラになっていると、安全確認の方法、連絡手段など、気懸かりである。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「家に全員が集まった場合にはよいが、仕事や学校でバラバラの場合にどうしたらいいか。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「訓練の時は家族全員で避難することができるのが、もし、バラバラで避難することが一番の不安である。家族の安否がすぐに確認できるようにして頂きたい。」(竹波地区 30代女性 パート・アルバイト)

【避難誘導等において安全かつ迅速な対応を望む】

(アンケートに寄せられた声)

「誘導がスムーズでない。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「避難するまでの時間をもっと早く」(竹波地区 30代男性 自営業)

「地元優先にもっと早く安全に避難させてほしい。」(竹波地区 30代男性 自営業)

「漁港から避難所への移動に時間がかかりすぎたと思う。(港についてからバスで長いこと待たされた)」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))
「今回は、テロと言うことで時代に沿った避難になり、良かったと思います。訓練どおり事が進んでいくように望みます。(竹波地区 30代女性 パート・アルバイト)」

【行政側の態勢(設備、備蓄等)に不備がある/整えるべき】

(アンケートに寄せられた声)

「他の訓練や国の設備を見ても同様であるが、それら機器の数が足りない。設備も追いついていない。(限界があるが・・・)」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「非常食料品の確保」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「女性のためのもの(生理用品)があるのか?」(丹生地区 40代女性 会社員(事務系))

「関係者間でも何度も訓練をしていただいて、住民が安心して避難できる態勢を整えておいて欲しい。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

【もっと大きな避難施設が必要】

(アンケートに寄せられた声)

「今回の訓練では、人数も限定されていることもあり十分ですが、対象地区の住民すべてが避難するとなると、もっと大規模なもの(避難所)が必要では・・・。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「もし本当にあったのなら「はあとぴあ」だけでは足りないのでは。」(竹波地区 40代女性 パート・アルバイト)

「(国や県、町に対して要望したいこととして)町民などが全員避難できる場所」(竹波地区 50代男性 (事務系以外))

【屋外の放送が聞き取れない】

(アンケートに寄せられた声)

「家の中では防災無線がよく聞き取れない。」(丹生地区 50代男性 会社員(事務系以外))

「屋内に避難しているのに、外に設置されている音声がかえらない。テレビの告知放送を見る指示でもあればテレビを見ることもある。」(丹生地区 40代女性 会社員(事務系))

「町の無線がかえにくい。音響の関係なのか、言っている言葉がはっきりしない。エコーが重なってかえづらい。宣伝 Car の運転速度が速すぎて、何を言っているのかわからない。」(丹生地区 50代女性 会社員(事務系以外))

【自家用車による避難を想定すべき】

(アンケートに寄せられた声)

「マイカーで避難する者をどう整理するか？今回の訓練どおりバスを手配した場合、連絡及び安否確認出来ない者が出た場合、発車のゴーサインが出にくく、混乱する。」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「実際の避難は自分の車の方が現実的であると思い、道路の誘導を適切に行うことも必要ではないか。」(竹波地区 50代男性 経営者・役員)

【避難誘導を行う行政職員等から十分な説明がなされるべき】

(アンケートに寄せられた声)

「訓練は段取りがわかっているが、実際はもっと集合したときに説明して欲しい。」(丹生地区 50代男性 会社員(事務系以外))

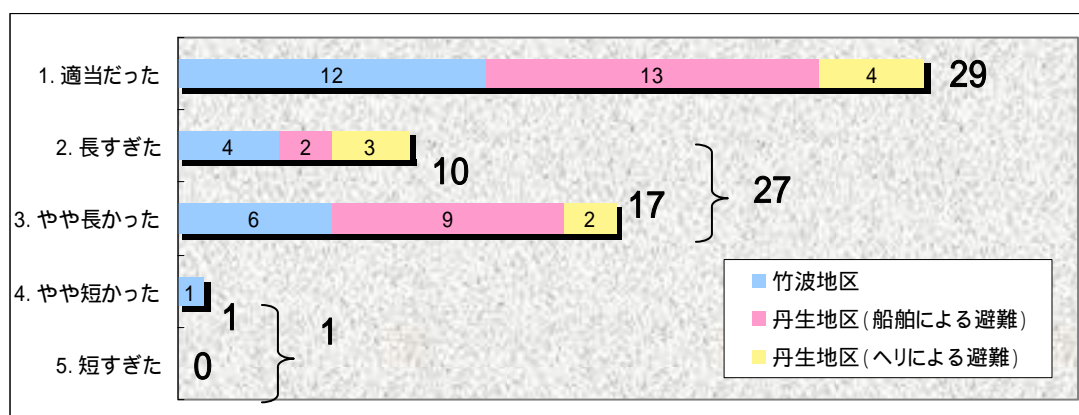
3 - 2 訓練に関するご意見等

3 - 2 - 1 訓練の企画、進行に関するご意見

< 選択式回答より >

【時間の長さは、「適当だった」「長かった」が約半数ずつ】

質問：本日の訓練に要した時間の長さについて伺います。



質問：時間が長いと答えた方に伺います。何時間程度が適当と考えますか？

回答	竹波地区	丹生地区		合計	
		船舶による避難	ヘリによる避難		
1 時間	2	4	3	1	6
1.5 時間	0	1	1	0	1
2 時間	4	6	4	2	10
3 時間	1	0	0	0	1
記入なし:8					18

< 自由回答より >

【避難所の環境が良かった / 悪かった】

(アンケートに寄せられた声)

「(避難所に)土足で入れるところが良いと思いました。」(竹波地区 40代女性 パート・アルバイト)

「(避難所内の環境は)よかったと思います。」(竹波地区 60代女性 自営業)

「大変利用しやすかった。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「(避難所内の環境は)良いと思った。」(丹生地区 40代男性 自由業)

「(避難所が)きれいな施設でよかった。」(丹生地区 50代男性 会社員(事務系以外))

「(避難所内の環境は)問題なし」(丹生地区 50代女性 自営業)

「避難経路に比べると、避難所はなんか形だけのようでした。」(丹生地区 40代女性 会社員(事務系))

【報道が多すぎる / 報道を入れるべきではない】

(アンケートに寄せられた声)

「(避難所の)入口せまい。プレスはシャットアウトせよ!!(見せ物ではない!!)」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「(避難所で)報道関係が多すぎる。」(竹波地区 50代女性 自営業)

「訓練だからかもしれないが、報道の人が多く、気になる。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「報道の人が多いので落ち着けられない(訓練だからかもしれないが...)。」(丹生地区 40代女性 会社員(事務系))

「プレスは排除すべき。彼らのネタにされるのは心外」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「報道陣が多すぎて嫌です。去年の事故の時を思い出してしまいました。」(丹生地区 40代女性 パート・アルバイト)

【全員を対象とした訓練を実施すべき】

(アンケートに寄せられた声)

「丹生、竹波地区だけではなく、町内全区で行ったほうが良いのではないのでしょうか・・・。」(竹波地区 40代女性 パート・アルバイト)

「人数制限せず対象の人全員参加の訓練(を要望)」(丹生地区 20代男性 公務員)

【担当者が詳しく説明してくれた】

(アンケートに寄せられた声)

「詳しく説明してくれたと思った。」(竹波地区 40代女性 パート・アルバイト)

3 - 2 - 2 訓練内容の理解、印象に関するご意見

< 自由回答より >

【国民保護措置の内容が理解できた / 備えに役立った】

(アンケートに寄せられた声)

「なんとなく概要が分かったから(良かった)。(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「実際にこのようなことがあるかもしれないんで、その意味では訓練として良いと思う。」(竹波地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「万が一に備えることができる(ので良かった)。(竹波地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「避難した場合、このようなことをするのがわかったので(良かった)。(竹波地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「備えあれば憂いなし」(竹波地区 60代男性 自営業)

「もし放射能を浴びた場合、ヨウ素剤の効き目など勉強させて頂き少しは安心できました。」(竹波地区 60代女性 パート・アルバイト)

「全体の流れが分かったので良かった。」(丹生地区 20代男性 会社員(事務系以外))

「経験しておけば、いざというときに少しは活かせるから(良かった)。(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「今後の参考になると思う。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「避難についての基本的なことがわかった。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「実際に訓練をしないと分らないこと、例えば、船に乗る方法や誘導方法が、体験で分ったから(良かった)。(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「普段と違った形態の訓練であったと思います。(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「参加できるというのは体で覚えられるのでいいんじゃないか。」(丹生地区 40代男性 自由業)

「避難の方法がわかっていると今後、少し安心かなと思った。」(丹生地区 30代女性 自営業)

「参加したことによって、いろんな経験ができたし、多くの人たちの協力状態がわかったこと(良かった)。(丹生地区 40代女性 自営業)

「参加してみなければ分からないことが多いから。参加してみてこれなら安心だと思えることがあったから(良かった)。(丹生地区 40代女性 自営業)

【実動部隊等の対応が重要と感じた／頼もしく感じた】

(アンケートに寄せられた声)

「警察、自衛隊の参加で、テロがあった場合守ってくれることの安心感」(竹波地区 50代男性 会社員(事務系以外))

「実際に救助に来てくれる保安庁の船や人を目の当たりにして頼もしく感じました。」(丹生地区 40代女性 パート・アルバイト)

「自衛隊の人、車両等を見たときは、結構大事なんだなぁと思われる。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系))

「ヘリコプターで、海上の船に着陸されていたのを見て、海上保安庁はすごいなぁと思った。海上に何隻もの船が住民を守っているところを見て、本当に頼りになるなぁとも思った。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「町の方のきめ細かな心配り。自衛隊の方のきびきびした態度(が印象に残った)」(丹生地区 40代女性 自営業)

【国民保護措置が迅速、適切に行われていた】

(アンケートに寄せられた声)

「『はあとぴあ』のスクリーニングは、非常に速やかに行われていた。」(40代男性 会社員(事務系以外))

「バスが(避難所に)着いてからスムーズに対応できるように、もし実際に行われたときもお願いしたい。」(竹波地区 30代女性 パート・アルバイト)

「迅速に対応されていて迷うことがなかった。」(竹波地区 40代女性 パート・アルバイト)

「各部門の連絡がうまくいっているように感じた。」(丹生地区 50代男性 会社員(事務系以外))

【問題点等が明らかになった】

(アンケートに寄せられた声)

「有事の際の対応にかかわる検証が、できたものとする。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「実際の問題点が明らかになった。」(丹生地区 50代男性 会社員(事務系以外))

【緊迫感に欠けていた】

(アンケートに寄せられた声)

「もう少し緊迫感のある訓練にさせていただきたかった。／警備の態勢があまり目立たなかったと感じました。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

【印象に残った場面等】

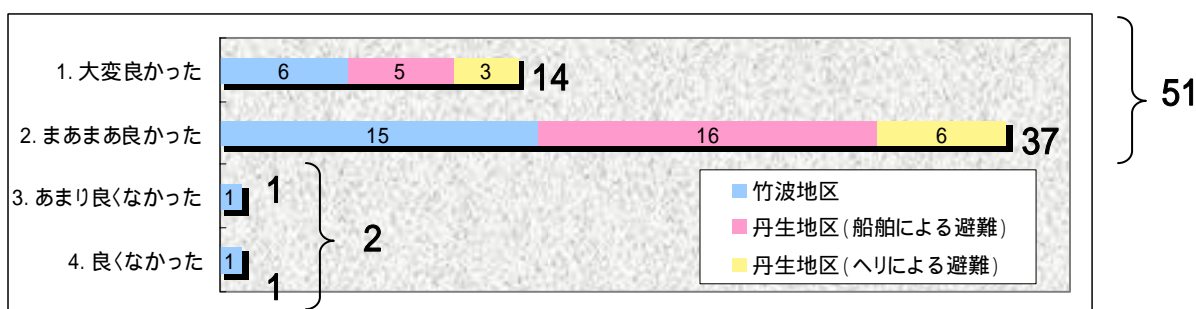
質問：本日の訓練で最も印象に残っているのは、どのような場面でしょうか？

海上保安庁のヘリや船舶による活動の様子	5
避難所におけるスクリーニングの様子	5
自衛隊の活動の様子	4
報道関係者やギャラリーが多かったこと	3
乗った海上保安庁の船がすごく揺れたこと	2
行政の担当者の心配り	1

3 - 2 - 3 その他訓練に関するご感想

< 選択式回答より >

【ほとんど全ての方が訓練に参加してよかったと感じている】



< 自由回答より >

【体験できてよかった / 充実した内容であった / 意義があった】

(アンケートに寄せられた声)

「貴重な経験(体験)が出来た。」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「前回参加したより、内容が充実している。」(竹波地区 30代男性 会社員(事務系))

「体験できたこと(良かった)」(竹波地区 50代男性 会社員(事務系以外))

「当節の世界の情勢から見ると、非現実的でもなさそうで、意義はあると思う。」(竹波地区 50代男性 経営者・役員)

「よい経験になった。」(丹生地区 30代男性 会社員(事務系以外))

「まず、やってみることが大切。一つずつ改善していき、イザというときに、皆がキチンと動けるようにすることだと思う。」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「総合的な訓練のため(良かった)」(丹生地区 40代男性 会社員(事務系以外))

「体験ができたこと(良かった)」(丹生地区 50代男性 会社員(事務系以外))

【船やヘリコプターの体験ができてよかった】

(アンケートに寄せられた声)

「ヘリコプターや船に乗れて、それらに乗る不安が減ったこと(良かった)」(丹生地区 20代男性 公務員)

「未知の経験(ヘリコプター)などができた。」(丹生地区 40代男性 経営者・役員)

「船に乗り、ヘリコプターに乗れた。もともと訓練は、しないよりしたほうが良い。」(丹生地区 50代男性 自営業)

「ヘリコプターや船に乗ることができて、体験が良かった。」(丹生地区 40代女性 会社員(事務系))

3 - 2 その他のご意見

<自由回答より>

【テロや事故が起こらないよう安全確保に努めてほしい】

(アンケートに寄せられた声)

「原子力発電所の近くに住んでいる以上、事故・テロなどの緊急事故がないよう 100%安心して暮らしていけるようにしてほしい。」(竹波地区 30 代女性 自営業)

「私たちは原発に一番近いところで生活しているため、テロの訓練と言うよりもテロというものが必ず起こらないようにこれからも安心して暮らしていけるようにして欲しいと思います。」(竹波地区 30 代女性 パート・アルバイト)

「起こってはいけないことですが、訓練を通してこれからは役立てていただき、安全を確保してもらいたいです。」(竹波地区 40 代女性 パート・アルバイト)

「発電所立地ですので、とにかく安全を第一にお願いします。」(竹波地区 60 代女性 自営業)

「このような訓練だけじゃなくて全体に事故のないように気をつけて下さい。お願いします。」(竹波地区 60 代女性 専業主婦)

「原電の目の前で海水浴民宿をしているので放射能事故は絶対に起さないで欲しい 安全第一でお願いします。」(竹波地区 60 代女性 パート・アルバイト)

【その他】

(アンケートに寄せられた声)

「早瀬(漁港)へ(海上保安庁の船舶から)降りるとき、足場が滑って怖かった。」(丹生地区 30 代女性 自由業)

「訓練で自宅に人が残っていないので気になる。」(竹波地区 50 代女性 自営業)

「(現実に家族全員が非難するとしても)今のところ家族は大人 3 人なので事故の内容以外には心配なことはありません。」(竹波地区 60 代女性 パート・アルバイト)

「報道関係者他、ギャラリーの多さにびっくりしています。私達の住むところって特殊なんだなと感じました。」(竹波地区 30 代男性 会社員(事務系以外))

「(国や県、町に対する要望については)はじめなのでなんとも言えない。」(丹生地区 50 代男性 自営業)